



柿

柿、干し柿、柿酢、

濱崎貞弘 著

奈良の柿四方山話

奈良県を、そして日本を代表する果物「柿」。その知られざる歴史・文化や利活用方法、最新研究で明らかになってきた健康機能性などの新たな魅力もまとめて紹介します。柿の好きな方はもっと大好きに、嫌いな方でも好きになれるかもしれない？ 情報満載です。



講演者：奈良県農業研究開発センター 加工科総括研究員
濱崎貞弘氏

1964年 大阪市で生まれる。香川大学農学部卒。奈良県農業研究開発センター加工科総括研究員。奈良県農産物の流通・加工・利用研究が専門。中でも奈良県特産の柿に関して造詣が深く、柿タンニンの抽出法やその利用技術、柿の紅葉の保存方法など、美味しく食べるだけでない柿の広範な魅力を研究し、NHK「あさイチ」をはじめ、テレビや新聞・雑誌等で、精力的にアピールしている。

日時 平成29年7月15日(土)

13時30分 ~ 15時30分

会場 奈良女子大学構内 佐保会館2階ホール

参加費 無料

(当日参加可 資料準備の都合上事前申し込みにご協力ください)

申込 佐保会館 電話:0742-23-3805 FAX:0742-22-4144

Eメール: sahokai@cc.nara-wu.ac.jp

主催 一般社団法人 佐保会 (奈良女子大学同窓会)

協力 奈良女子大学 やまと共創郷育センター